



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社三栄コーポレーション

コード番号 8119 URL <https://www.sanveicorp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敬幸

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小平 敏之 TEL 03-3847-3500

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 平成30年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	20,842	△4.3	29	△96.2	107	△87.4	△12	—
30年3月期第2四半期	21,771	△10.2	780	△31.8	854	△8.5	487	22.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 △221百万円(－%) 30年3月期第2四半期 627百万円(－%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△5.26	—
30年3月期第2四半期	203.90	199.81

(注) 平成31年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	22,828	12,791	55.5	5,401.66
30年3月期	25,719	13,437	51.8	5,570.34

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 12,665百万円 30年3月期 13,313百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	60.00	—	100.00	160.00
31年3月期	—	60.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	100.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	△1.6	850	△49.5	850	△53.6	400	△52.0	170.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	2,552,946株	30年3月期	2,552,946株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	208,236株	30年3月期	162,816株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	2,374,230株	30年3月期2Q	2,389,675株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、台風や地震などの自然災害が下押し要因とはなかったものの、好調な企業業績を背景として、雇用・所得環境の改善傾向が持続したことから、個人消費の基調には変化がなく、緩やかな景気回復基調が続きました。一方、日本経済を取り巻く環境をみると、米国が保護主義的な通商政策を一段と強めたことで貿易摩擦がさらに顕著となるなど、先行きの不透明感を拭い切れない状況が継続しました。

当社グループでは、お客様のブランド商品を製造・品質管理・物流まで一貫して提供するOEM事業と、自社ブランドや海外の秀逸なブランドを販売するブランド事業を展開しておりますが、当第2四半期連結累計期間のOEM事業は、欧州向け家庭用品の売り上げが大幅に減少したことを主因に減収となりました。ブランド事業においては、ドイツのコンフォートシューズブランド「BIRKENSTOCK（ビルケンシュトック）」等を販売する㈱ベネクシー等の売り上げは減少したものの、家具・インテリアのネットショップ「MINT（ミント）」やベルギー発のプレミアム・カジュアルバッグブランド「Kipling（キプリング）」を販売する㈱L&Sコーポレーションの売り上げが増加したことから、ブランド事業全体の売り上げは微増となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、前年同期比4.3%減少の208億4千2百万円となりました。

利益面につきましては、売上高が減少したことに加えて売上総利益率も低下したことから、売上総利益は前年同期比6億5千1百万円減少の57億9百万円となりました。営業利益につきましては、販売費は減少しましたが、一般管理費が増加したことから、前年同期比7億5千1百万円減少の2千9百万円となりました。経常利益につきましては、為替予約の実現益の計上はありましたが、前年同期比7億4千6百万円減少の1億7百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期比4億9千9百万円減少の1千2百万円の損失となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### (家具・家庭用品事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比10.6%減少の102億1千6百万円となりました。OEM事業では、欧米向け家庭用品の売り上げが大きく減少したことを主因に売り上げ減少となりました。ブランド事業では、「MINT（ミント）」をはじめとする家具・インテリアのネットショップの売り上げは伸長しました。一方、ドイツのテーブルウェアブランド「Villeroy & Boch（ビレロイ アンド ボッホ）」等を販売する㈱エッセンコーポレーションは、主力ブランドの入れ替えにより売り上げが減少しました。

セグメント利益については、売上高の減少に加えて売上総利益率も低下したことから、前年同期比5億6千5百万円減少の1億8千8百万円となりました。

#### (服飾雑貨事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比9.0%増加の69億2千4百万円となりました。OEM事業では、国内向け海外向けともに売り上げが増加となりました。ブランド事業においては、ベルギー発のプレミアム・カジュアルバッグブランド「Kipling（キプリング）」を販売する㈱L&Sコーポレーションの売り上げは増加となりましたが、ドイツのコンフォートシューズブランド「BIRKENSTOCK（ビルケンシュトック）」等を販売する㈱ベネクシーの売り上げは減少となりました。

セグメント利益については、売上高は増加したものの売上総利益率が低下したことから、前年同期比2千万円減少の1億6千2百万円となりました。

#### (家電事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比1.1%増加の27億4千4百万円となりました。OEM事業では、三発電器製造廠有限公司の売り上げが前年実績を下回ったものの、国内向けの売り上げが増加したことから、OEM事業の売り上げは増加となりました。また、ブランド事業においては、「Vitantonio（ビタントニオ）」ブランドの調理家電の売上減を主因に、㈱mhエンタープライズの売り上げが減少となりました。

セグメント利益については、売上高は微増したものの売上総利益率が低下したことに加えて、ブランド事業における期初計画を上回る先行投資もあり、前年同期比6千1百万円減少の1千9百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ28億9千1百万円減少の228億2千8百万円となりました。

主な資産の変動は、「商品及び製品」が5億4千1百万円増加した一方、「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」がそれぞれ25億2千9百万円、8億3千2百万円減少しております。

主な負債の変動は、「支払手形及び買掛金」、「未払法人税等」がそれぞれ3億8千6百万円、2億9千9百万円減少しております。

主な純資産の変動は、「利益剰余金」、「その他有価証券評価差額金」がそれぞれ2億5千1百万円、1億1千6百万円減少しております。

この結果、自己資本比率は55.5%、1株当たり純資産は5,401円66銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成30年5月11日付「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました平成31年3月期の通期業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日付で別途公表しております「平成31年3月期第2四半期業績予想と実績の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,630,595	2,101,073
受取手形及び売掛金	6,615,544	5,783,404
有価証券	11,304	47,263
商品及び製品	6,013,923	6,555,530
仕掛品	51,769	55,255
原材料及び貯蔵品	143,906	181,170
前渡金	173,617	143,405
前払費用	175,482	131,187
その他	462,406	486,188
貸倒引当金	△1,231	△3,751
流動資産合計	18,277,318	15,480,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,251,516	1,258,385
機械装置及び運搬具（純額）	130,203	117,018
工具、器具及び備品（純額）	223,641	238,544
土地	665,828	665,828
リース資産（純額）	11,078	6,074
建設仮勘定	48,524	39,643
有形固定資産合計	2,330,793	2,325,495
無形固定資産		
投資その他の資産	815,151	800,549
投資有価証券	3,502,727	3,307,330
長期貸付金	15,845	14,615
繰延税金資産	112,479	209,723
破産更生債権等	969	2,460
その他	711,859	731,223
貸倒引当金	△47,281	△43,898
投資その他の資産合計	4,296,599	4,221,454
固定資産合計	7,442,543	7,347,498
資産合計	25,719,862	22,828,226

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,267,447	1,881,235
短期借入金	4,600,000	3,500,000
1年内返済予定の長期借入金	—	950,000
リース債務	8,861	4,100
未払法人税等	387,529	87,702
賞与引当金	402,593	332,297
役員賞与引当金	35,895	13,687
未払金	1,474,239	1,263,575
未払費用	370,470	348,935
未払消費税等	114,108	28,145
その他	411,436	358,206
流動負債合計	10,072,581	8,767,884
固定負債		
長期借入金	1,200,000	250,000
リース債務	2,877	2,397
繰延税金負債	659,606	672,633
再評価に係る繰延税金負債	70,058	70,058
退職給付に係る負債	159,956	152,216
役員退職慰労引当金	41,512	44,951
資産除去債務	60,304	61,128
その他	15,407	15,407
固定負債合計	2,209,723	1,268,793
負債合計	12,282,305	10,036,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,914	1,000,914
資本剰余金	661,332	674,460
利益剰余金	9,919,989	9,668,476
自己株式	△214,292	△412,935
株主資本合計	11,367,944	10,930,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,782,994	1,666,399
繰延ヘッジ損益	△10,688	△28,954
土地再評価差額金	158,741	158,741
為替換算調整勘定	14,835	△61,783
その他の包括利益累計額合計	1,945,883	1,734,402
新株予約権	100,537	100,537
非支配株主持分	23,192	25,691
純資産合計	13,437,557	12,791,548
負債純資産合計	25,719,862	22,828,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	21,771,224	20,842,448
売上原価	15,411,139	15,133,437
売上総利益	6,360,084	5,709,011
販売費及び一般管理費		
販売費	1,351,661	1,341,604
一般管理費	4,227,453	4,338,017
販売費及び一般管理費合計	5,579,115	5,679,622
営業利益	780,969	29,388
営業外収益		
受取利息	6,468	7,393
受取配当金	22,314	22,221
為替差益	50,939	47,007
デリバティブ評価益	3,722	—
その他	6,906	26,664
営業外収益合計	90,352	103,286
営業外費用		
支払利息	16,998	17,476
デリバティブ評価損	—	4,964
その他	283	2,791
営業外費用合計	17,281	25,232
経常利益	854,040	107,442
特別利益		
投資有価証券売却益	4,982	—
特別利益合計	4,982	—
特別損失		
固定資産除却損	1,897	5,040
賃貸借契約解約損	4,807	—
貸倒引当金繰入額	—	1,615
特別損失合計	6,704	6,656
税金等調整前四半期純利益	852,318	100,786
法人税、住民税及び事業税	311,881	130,233
法人税等調整額	51,122	△19,446
法人税等合計	363,004	110,787
四半期純利益	489,314	△10,000
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,057	2,499
親会社株主に帰属する四半期純利益	487,257	△12,499



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	489,314	△10,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	474,797	△116,595
繰延ヘッジ損益	△261,782	△18,265
為替換算調整勘定	△74,933	△76,619
その他の包括利益合計	138,080	△211,480
四半期包括利益	627,394	△221,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	625,337	△223,980
非支配株主に係る四半期包括利益	2,057	2,499

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	852,318	100,786
減価償却費	185,710	226,646
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△176	△856
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△119,792	△67,330
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,693	△3,855
受取利息及び受取配当金	△28,783	△29,615
支払利息	16,998	17,476
賃貸借契約解約損	4,807	—
固定資産除却損	1,897	5,040
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4,982	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△40,562	750,632
たな卸資産の増減額 (△は増加)	83,365	△594,231
仕入債務の増減額 (△は減少)	△470,139	△297,707
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,818	△103,365
その他	132,330	△234,623
小計	600,866	△231,003
利息及び配当金の受取額	28,783	29,615
利息の支払額	△16,902	△17,483
法人税等の支払額	△386,477	△428,935
営業活動によるキャッシュ・フロー	226,270	△647,807
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△211,565	△178,130
無形固定資産の取得による支出	△361,690	△43,674
投資有価証券の取得による支出	△8,917	△8,880
投資有価証券の売却による収入	13,412	—
貸付金の回収による収入	330	1,230
その他	12,147	△32,771
投資活動によるキャッシュ・フロー	△556,283	△262,227
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	△1,100,000
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△50,000	—
自己株式の取得による支出	△190	△205,226
自己株式の売却による収入	2	—
配当金の支払額	△238,743	△239,013
その他	△4,700	△4,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△343,631	△1,548,939
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,619	△70,547
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△699,264	△2,529,522
現金及び現金同等物の期首残高	2,859,144	4,630,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,159,880	2,101,073

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

② 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,422,533	6,353,376	2,713,191	20,489,101	1,282,123	21,771,224	—	21,771,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	100	5,507	5,148	10,756	27,704	38,460	△38,460	—
計	11,422,633	6,358,883	2,718,340	20,499,857	1,309,827	21,809,685	△38,460	21,771,224
セグメント利益又は 損失(△)	753,900	183,207	42,105	979,213	27,127	1,006,340	△225,370	780,969

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△225,370千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,216,976	6,924,624	2,744,073	19,885,674	956,773	20,842,448	—	20,842,448
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,992	24,240	5,375	36,608	30,216	66,824	△66,824	—
計	10,223,969	6,948,865	2,749,448	19,922,283	986,989	20,909,273	△66,824	20,842,448
セグメント利益又は 損失(△)	188,132	162,979	△19,043	332,068	△5,149	326,918	△297,530	29,388

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△297,530千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。